ひなた 4

部会紹介　茂木支店筍部会、大西海びわ部会

祝　甲子園初出場　大崎高校野球部
「長崎和牛・大西海SPF豚」で激励

来場客数300万人突破記念セレモニー
太陽の郷

令和３年４月号　通巻.190
長崎西彼農業協同組合

春の訪れを極上のおいしさとともにお届けします

茂木支店筍部会

茂木支店筍部会は部会員 20 名が約 300㌃生産しています。

茂木支店筍部会の部会長を務める山﨑政明さんは筍栽培歴 55 年になります。現在 10㌃で生産する筍は、１月下旬から収穫を始めて４月下旬に終え、その後竹山を来年に向けて整備します。肥料撒きや間引きなど、偶然出た筍を収穫しているのではなく、一年を通して竹山を管理しています。同部会がつくる筍は、味・香り・食感すべてが一級品で、料亭などに重宝されています。

茂木支店筍部会　部会長
山﨑　政明さん（75）

赤土が育む、おいしい筍

粘土質の赤土には筍に必要な栄養分が豊富に含まれ、筍栽培に適しています。土の中の栄養の偏りや保水の状態などで品質に差が生じないよう筍栽培は土づくりを重要とします。

旬の味をお届けします

手入れが行き届いた畑で育つ筍は絶品です。春の味覚の代表格である筍を皆様にお届けします。

唐鍬で掘り起こす、匠の技

土の中にある筍を確認

収穫は厚く丈夫な刃が特徴の唐鍬で掘り出していきます。筍は日に当たると味が落ちてしまうため、土の中にある状態から掘り出されます。唐鍬で傷をつけないように丁寧に掘り出し、赤土の表面にわずかに出てきた筍を見つける作業は経験と勘が頼りになり、まさに匠の技です。

唐鍬で掘り出していく

筍を傷つけないように掘り出す

期待を超えるびわづくり

大西海びわ部会

大西海びわ部会は部会員約 40 名が 773㌃生産しています。

大西海びわ部会の部会長を務める井手孝博さんはハウスびわ栽培歴 40 年になります。大学での研修をきっかけにハウスびわの知識や栽培技術について学んでいく中で魅力に惹かれ、大学卒業後に 20 歳でハウスを建てました。現在 20㌃栽培する「長崎早生」は玉太りも良く順調に生育しています。今年は３月１日から出荷が始まり、３月下旬から４月上旬にかけてピークを迎える予定です。

大西海びわ部会　部会長
井手　孝博さん（59）

生涯現役

生涯にわたりハウスびわ栽培を続け、市場やJAと連携して部会を盛り上げていきます。

消費者の期待をモチベーションに

びわは季節を代表する果実で長崎県を代表する特産品として市場や消費者から期待されています。生産者はその期待に応えるため、品質管理には十分注意を払いながら栽培に努めます。急激な温度変化でびわが傷まないよう温度管理には特に気を配ります。

高品質なびわを生産することで市場や消費者との信頼に繋がり、「来年は消費者の期待を超えるびわに仕上げよう」と、次の栽培に対するモチベーションの向上にもなります。

また、コロナ禍のなか、産地としての風評被害を避けるべく、部会員一人ひとりが積極的にマスクの着用や手指の消毒など感染対策も徹底して行って安心安全なびわを生産しています。

春芽アスパラガス出荷はじまる
アスパラガス部会

JA長崎せいひアスパラガス部会は2月9日に本年産春芽アスパラガスの出荷を開始。3月からの本格出荷に先立ち25日に西海支店で開いた出荷協議会では、部会員が出荷計画を共有し目揃え会で出荷規格を確認しました。

今年産春芽アスパラガスの出荷数量は約60㌧を予定しています。同部会は部会員57人が895㌃栽培。昨年産は、夏場の高温や台風の影響で病気の発生が目立ったところもありました。販売面では、市場と連携して有利販売につなげます。また、気温上昇と共に、病害虫の発生も懸念されるため生産者、営農指導員一丸となり栽培管理を徹底して生産に取り組みます。

同部会岩永一也部会長は「体調管理を万全に、新型コロナウイルス感染症にも注意して生産に努めていきたい」と話しました。

目揃え会で規格を確認する部会員ら

反収アップに向けて団結
アスパラガス部会総代会

アスパラガス部会総代会の様子

アスパラガス部会は2月5日、西彼支店で総代会を開き、昨年度の活動実績を振り返り、今年度の事業計画を策定しました。

同部会はことのうみアスパラガス部会と大西海アスパラガス部会で構成。平成28年度に選果場を集約して新選別機と新結束機を導入しました。家庭選別等の労力軽減による栽培管理の徹底に取り組んで反収増加を目指します。販売面では、市場の要望等に対して積極的な対応を図り、有利販売に努めます。

たけのこ出荷はじまる
茂木支店筍部会

傷が付いていないか確認する様子

出荷重量検査の様子

JA長崎せいひ茂木支店集出荷場で3月3日からたけのこの出荷が始まりました。3月中旬から下旬にかけてピークとなり、15㌧の出荷を見込みます。

茂木支店筍部会は、部会員20名で生産しています。本年産のたけのこは、台風による塩害により出荷が1週間ほど遅れました。

販売担当者は「昨年から新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。市場との連携を図り、有利販売に努めていく」と話しました。

箱詰めの様子

農報特集

ハウスびわ本格出荷開始

長崎ハウスびわ部会は３月２日、長崎市三和支店集出荷場で 2021 年産ハウスびわの出発式を開きました。生産者をはじめとする関係者らが安定供給と高値販売に向けて団結。報道陣へ向け、糖度が高く食味の良いハウスびわを PR しました。本年産は 10 月 12・15 日時点で約 90％の着房率となり出荷量は約 120ﾄﾝを計画しています。

同部会は茂木地区や三和地区を中心とする生産者約 90 人で生産しています。主な品種は「長崎早生」で甘くジューシーな果実が特徴。今年産は、８月の日照時間が平年より長く、降水量が少なかったことや９月の平均気温が低く推移したため着房率、花房進度ともにやや早い状況となりました。今後は、需要に基づく計画出荷をするために施設内の温度、水、湿度管理を行いながら青果率向上を図ります。また生育ステージに合った温度管理を行い、出荷の平準化に努め、３月以降の暖候期には寒冷紗や、こまめな換気を行うことで障害果の発生を極力なくすことを徹底します。食味のよい「長崎びわ」を計画的に安定供給するとともに「露地びわ」へのスムーズなバトンタッチに努め「長崎びわ」の消費拡大と銘柄向上を図っていきます。

びわを載せたトラックを見送る生産者ら

大西海びわ部会では、２月 15 日に初出荷を迎えました！

ゆうこう現地講習会開催　外海地区ゆうこう振興会

外海地区ゆうこう振興会は３月８日、ゆうこう現地講習会を開きました。適切な栽培方法を知ることで、ゆうこうの適切な栽培を目指そうと会員約 15 名が参加しました。

三重支店の高田営農指導員を講師に、病害虫防除や苗木の植栽やせん定について資料を示し、現地で分かりやすく説明しました。その後、肥料や農薬、病気などの多くの質問が飛びかい、熱のこもった講習会となりました。

苗木の育成について説明する高田営農指導員

苗木の剪定について熱心に聞き入る会員ら

祝 甲子園初出場 大崎高校野球部「長崎和牛・大西海SPF豚」で激励

JA長崎せいひは2月19日に、西海市大島町にある長崎県立大崎高等学校野球部に第93回選抜高等学校野球大会出場記念として西海市和牛振興協議会より「長崎和牛（さいかい牛）」サーロインステーキ用、（有）大西海ファームよりロースカツ用、バラしゃぶしゃぶ用、長崎県JAグループでは農産物で激励し、応援メッセージを送りました。

大崎高校は秋の九州大会を制覇。見事春のセンバツ初出場が決定となりました。

白﨑純範専務は「大会では日頃の練習の成果を十分に発揮できるよう頑張ってほしい」と激励。秋山章一郎主将は「一日一日の練習を無駄にせず力をつけて、たくさんの方々に喜んでもらえるよう頑張りたい」と話しました。

同日、長崎県JAグループからも贈呈品が贈られました

SDGs17 の目標達成に向けて

SDGsと女性部

JA 長崎せいひ女性部でも、SDGs を意識して活動を進めております。

JA 全国女性大会（Web 開催）
本部役員

布コサージュ
長崎ブロック役員研修

商品化目指すハート形「せとか」

JA 長崎せいひは柑橘類「せとか」をハート形に試験栽培した商品の展示を２月上旬から、長崎市内の土産店や直売所に展示して来場客に PR しました。

三重支店に駐在する高田豊営農指導員が JA 管内生産者協力のもとに進めているハート形「せとか」は今年度全部で 30 個。面白い形の果実を作りたいと、県外の先行事例を参考に 2014 年から試作を始め、今回で７回目となり、バレンタインデーの贈り物やイベント向けに商品化を進めています。果実に型枠をはめてそのまま育てることで形作り、期間は５か月間を要します。「せとか」は果面がきれいで食味が濃厚。「甘さ」「食味」「香り」ともに三拍子が揃う最高級果実。今後は更に精度を高める挑戦を続けます。来場客は「ハート形でかわいい」「ぜひ販売してほしい」と話し賑わいを見せました。

展示は、長崎市大黒町のホテルニュー長崎、長崎市尾上町のアミュプラザ長崎、長崎市京泊町の長崎漁港がんばランド、道の駅夕陽が丘そとめで実施しました。

来場客も思わず見惚れる♡
ハート形「せとか」

道の駅夕陽が丘そとめでの
展示の様子

来年度
新入職員らが研修

令和３年度に正職員として入組予定の新入職員 10 名が、２月 18 日に JA 長崎せいひで内部研修を行いました。例年では、ミカン選果場をはじめ、直売所や葬儀場、支店を見学していましたが、今回は新型コロナウイルス感染症対策により中止となりました。研修では、WEB 研修を含め、社会人の心得やベストパートナー制度など、JA や JA 職員への理解を深めました。

社会人の心得について
研修する新入職員ら

来場客数300万人突破記念！
びわっちファーム太陽の郷

JA長崎せいひの直売所「太陽の郷」の来場者数が２月16日、300万人を達成しました。18日には記念セレモニーを開催し、記念すべき300万人目は同店をほぼ毎日利用しているご近所に住む田本さんです。記念セレモニーでは、JAよりお米や長崎和牛を、生産者出荷協議会より花束とポンカンが贈られました。

また、今年２月９日には店舗内装リニューアルを行いました。中島宏史店長は「たくさんのお客様に太陽の郷をご利用していただき非常にありがたい。これからも安全、安心な農作物の提供に努め、様々なイベントを通して生産者の励みになりたい」と話しました。

店舗内装リニューアル♪

before

after

◆レジを１か所から２か所に配置、袋詰め用の台を設置
◆野菜・果実・加工品・冷蔵品など各エリアごとに配置

新鮮食材で楽しくクッキング

料理研究家　波多野充子

タケノコ＆アサリご飯

1食当たり：約310kcal

■ 材料（4人分）

米 …… 2合
ゆでタケノコ …… 100g
アサリのむき身 ……80g
昆布……3cm角を1枚

調味水
だし汁 ……カップ2
酒 ……大さじ1
みりん ……大さじ1
しょうゆ ……大さじ1
塩 ……小さじ1/2

木の芽 ……5～6枚

■ 作り方

(1) 米をとぎ、浸水してから、ざるに上げておく。
(2) タケノコは縦半分に切り、穂先の方は5mm程度の細切り、根元の堅い部分は縦千切りにする。
(3) アサリはサッと洗い水を切っておく。
(4) 炊飯器に米・昆布・タケノコ・アサリ・調味水の材料を入れて炊く。
(5) 炊き上がったら昆布を取り出し、大きくかき混ぜてから器に盛り、木の芽を散らす。

春といえばタケノコ。「筍」という漢字は、まさに竹の旬を表しています。そしていつでも手に入るアサリですが、旬は春と秋。特に春は産卵を控え、身が肥えてとてもおいしい季節。タケノコの香りとしゃきしゃきの食感に、アサリのうま味がたっぷり詰まった炊き込みご飯をお楽しみください。

焼き野菜と油揚げのポン酢あえ

1食当たり：約70kcal

■ 材料（2人分）

グリーンアスパラガス ……4本
パプリカ ……1/2個
エリンギ ……2本
油揚げ ……1枚
ポン酢 ……大さじ1

■ 作り方

(1) アスパラガスは根元の堅い部分だけ皮をむく。
(2) パプリカは種を除き縦半分に切る（1/4の大きさ）。
(3) エリンギは縦半分に切る。
(4) 温めた魚焼きロースターでアスパラガス・パプリカ・エリンギ・油揚げを中～強火で焼く。
(5) アスパラガスとエリンギは転がしながら、少し焦げ目が付くまで焼く。パプリカは皮の面だけを黒く焦げるまで焼き、温かいうちに手で薄皮をむく。油揚げは両面に少し焦げ目が付くまで焼く。
(6) (5) を食べやすい大きさに切り、ポン酢であえる

旬のみずみずしいグリーンアスパラガスを焼くと、凝縮した甘味に香ばしさが加わり、ゆでたときとはまったく違う味が楽しめます。パプリカは皮の面だけを黒く焦がすと、手で簡単に皮がむけ、こちらも甘さとこくが抜群です。魚焼きロースターで一度に焼けるので、忙しいときにはうれしい一品です。

料理研究家　高島　陽子

たけのこ豆乳シチュー

1食当たり：約205kcal

■ 材料（2人分）

タケノコ（水煮）……100g
タマネギ……100g
ニンジン……100g
シメジ……100g
グリーンピース ……大さじ2
鶏肉 ……50g
水……300ml
豆乳……100ml
かたくり粉 ……大さじ1
油 ……大さじ1
鶏がらスープのもと ……小さじ1
塩 ……小さじ1

■ 作り方

(1) 鍋に油を引き、タマネギ、シメジ、鶏肉を炒める。
(2) (1) にニンジンを入れ、油が回ったら水を入れて中火にかける。
(3) 沸騰したらあくを取り、弱火にし7～8分煮込む。
(4) グリーンピースはあらかじめゆでておく。
(5) ニンジンが軟らかくなったら、タケノコ、グリーンピース、豆乳を入れ、さらに2～3分煮込む（豆乳は沸騰すると分離してしまうので、沸騰しないように気を付ける）。
(6) 仕上げに鶏がらスープのもとと塩で味を調え、水溶きかたくり粉を入れてとろみをつける。

タケノコはシチューやカレーなど洋風の煮込み料理にもよく合います。今回は豆乳やかたくり粉を使い、春向きのあっさりしたシチューに仕上げました。鶏肉の代わりにベーコンや豚肉を入れたアレンジも可能です。

明日も農業を つづけるために。

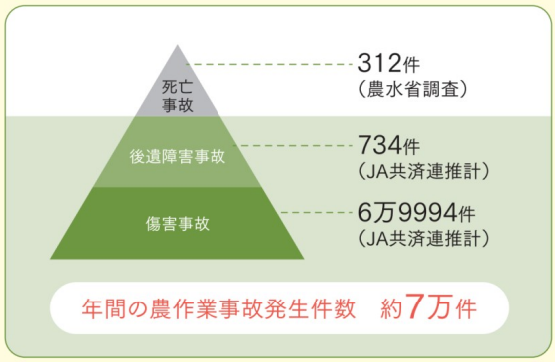
これまでJA共済連が農家組合員の方々への保障提供を通じて
蓄積してきた大量の共済金支払データを分析することで、
今までは見えていなかった農作業事故の実態が明らかになってきました。
農作業の安全について、いま一度考えてみるとともに、万一に備えて共済の加入も検討してみましょう。

協力:全国共済農業協同組合連合会(JA共済連)　https://www.ja-kyosai.or.jp

氷山の一角だった死亡事故
～年間約7万件の事故が発生～

死亡以外のけがも含めた農作業事故の全体については、統計データの不足からこれまで明らかにされていませんでした。JA共済連では大量の共済金支払データを分析することで、後遺障害事故は死亡事故の約2倍、傷害事故は死亡事故の約224倍起きていることを確認しました。この倍率を農林水産省の死亡事故調査(2016年)の312件に掛けることで、農作業事故が年間約7万件発生しているものと推計しています(図表1)。

図表1　農作業事故の全体像



なぜ農作業事故が起こるのか

なぜ農作業事故がこれほど多いのでしょうか。事故には、場所や天候といった「環境」、農機具や生物などの「物」、作業者である「人」という三つの因子があります。

それぞれの因子について、農業ならではの特性があり、三つの要因が積み重なることにより、「事故の起こりやすさ」や「重大事故へのつながりやすさ」が大きくなってしまうのです(図表2)。

図表2　農作業の特性と事故の関係

農作業の主な特性		データの検証結果	まとめ
①環境	斜面、高所作業が多い	「転倒(同一平面)」「墜落」が事故全体の過半数を占める	事故が起こりやすい
①環境	狭く暗い施設、炎天下が多い	・施設事故は約2割を占める ・発生時期は7～9月で約3割を占める	事故が起こりやすい
②物	さまざまな機械、用具、家畜を扱う	機械、用具、生物だけで約5割を占める	事故が起こりやすい
②物	さまざまな機械、用具、家畜を扱う	機械、用具、家畜の事故の重症度は他の事故よりも高い	重大事故につながりやすい
③人	高齢者が多い	高齢なほど重症度が高い	重大事故につながりやすい
③人	ひとりでの作業が多い	事故後すぐに発見されないケースが散見される	重大事故につながりやすい

特に注意したい「物」の事故

重大事故は一度起きれば今後の生活に大きな影響を与え、農業の継続が困難になることもあります。
とりわけ機械や用具などの「物」による事故は、重大事故につながりやすく、注意や対策が必要です。

歩行型農機

下敷き
巻き込まれ
挟まれ

対策 バックの際は必ず後方を確認。ロータリーと足の位置は余裕をもって

乗用型農機

公道・ほ場での
転倒・転落
乗降中の転倒

対策 昇降路や公道ではブレーキの連結ロックを。降車時は後ろ向きに

刃のある器具

巻き込まれ
刃との接触

対策 整備は、必ず回転を止めて行う

脚立・はしご・斜面

不安定な場所
からの転落

対策 はしごや脚立は安定させて設置。高所作業では必ずヘルメットの着用を

映像で学ぶ農作業事故

『明日も農業をつづけるために。』公開中

JA共済ホームページ「TVCM・映像ライブラリ」からご覧いただけます。
http://www.ja-kyosai.or.jp/enjoy/cf/index.html

イラスト:ゆきたけし

情報

4月

果樹（総合）

南部営農経済センター　営農課
尾﨑　大祐

◎柑橘

４月は、新梢の伸長や開花結実するための細胞分裂が盛んな時期です。
着花量と新梢量のバランスをとり着果安定することで高品質果実安定生産に繋がります。
また、この時期の乾燥は新梢の緑化・発根が遅れ、生理落果増加の原因になりますので、乾燥が続く場合は十分な量のかん水を行い、樹勢が低下している樹には窒素中心の葉面散布を行いましょう。

○春肥の施用

肥料名	極早生（３月上～中旬）	早生・普通（３月中～下旬）	高糖度系（４月上旬）
みかん１号（8-7-4）	５袋	4.5 袋	5.5 袋
みかん２号（10-8-5）	４袋	3.5 袋	4.5 袋

※着花過多樹は出蕾後に花肥として「みかん夏肥１号」を１～２袋／ 10ａ施用する。

○病害虫防除

気温の上昇とともに病害虫の発生が増加しますので適期防除を心掛けてください。

防除時期	対象病害虫	散布薬剤	注意事項
発芽伸長期（４月上中旬）	そうか病	デランフロアブル 1,000倍 または フルーツセイバー 2,000倍	• 多発園は発芽２～３mm頃と1～２cm頃に２回散布 • デランにかぶれる人はフルーツセイバー 2,000倍を散布 • デラン散布後開花期以降のマシン油との近接散布は薬害を生じるので30日以上あける
発芽伸長期（４月下旬）	かいよう病（温州多発園）	コサイド3000 2,000倍 クレフノン 200倍を加用	• アタックオイルとの散布間隔は、14日以上あける • ４月中下旬にICボルドー 80倍を散布する場合は、薬害軽減対策としてアビオンＥ1,000倍を混用
開花期（４月下～５月上旬）	アザミウマ類 ケシキスイ ハナムグリ	モスピラン（顆水） 4,000倍	• 訪花性昆虫発生園は、開花初期と盛期に防風樹を含め防除する

※ナメクジ類発生園ではスラゴ粒剤を園全体に散布する。(2kg ／ 10ａ)

◎露地びわ

○除草作業

園内が雑草に覆われると地温が上がらず根の生育を妨げます。園内の草刈りを行い養水分の吸収と根の伸長を促しましょう。

○枝吊り（なつたより）

なつたよりは結果枝が下垂すると果実品質の低下や袋の中に雨水がたまり裂果を生じやすいので枝吊りを行いましょう

○病害虫防除

昨年、カメムシの被害が多かった園では必ず防除を行いましょう。

防除時期	対象病害虫	散布薬剤
果実肥大期（４月中旬）	カメムシ	スタークル（顆水） 2,000倍

※詳しくは最寄りの支店の営農指導員へお問い合わせください。

水　稲

北部営農経済センター　営農課
相川　達也

水稲栽培のポイント（育苗）

1．育苗土の準備

- 育苗に適する土は、通気性・透水性が良く、かつ適度な保水性・保肥力があり、PHが4.5～5.5が適当です。山土等を使用する場合はあらかじめPHを測定しておくことが必要です。
- 床土は、稚苗移植で10ａ当たり70～80ℓ（覆土込みの場合は100ℓ）準備し、よく乾燥させ4～5 mmの篩に掛けます。
  例)覆土に山土を使用した場合　育苗粒状肥料(4-4-4)25g／箱

2．播種準備

- 塩水選は、発芽勢をよくするため、また、病原菌の侵入した籾を取り除く為に必要となります。
- 塩水選後は、塩分をのぞくため十分に水洗いをしましょう。

比重（水温15℃）
うるち 1.10　（食塩約1.5kg／水10ℓ）
令和２年産ヒノヒカリは1.08
もち　1.08　（食塩約1.2kg／水10ℓ）

3．種子消毒

- 塩水選～水選後、籾が乾かないうちに薬剤処理を行います。
- 薬液と籾の容量比は1：1とし、浸漬中２～３回撹拌します。
- 薬液は10℃以下にする。また、薬液は反復利用しない。

4．浸種

- 浸種は種子消毒後、水洗しないでそのまま、水温の変化の小さい日陰等を選んで行います。
- 浸種日数は、水温20℃で５日間、水温15℃では７日間、水温10℃では10日間。(積算温度約100℃でハト胸状態)

種子の吸水時間(浸種日数)は、品種によって違うので、注意します。

- 20℃以上での浸種は発芽ムラを助長する場合があるので水温には注意します。
- 水は、毎日交換し、籾を時々混ぜムラをなくします。
- 催芽は30～32℃の温湯に24時間程度、浸漬しハト胸状態（1mm程度）にする。

5．播種

播種量	催芽籾で150～180g／箱
覆　土	籾が隠れ、やや厚めに被覆する（20mm の床土に５mm の覆土、５mm の空間）

- 床土を入れかん水を十分に行い、播種して覆土します。覆土後は持ち上がりの原因になるのでかん水しない。

6．田植

- 高温などで苗が徒長すると、葉令の展開が遅れてしまい、移植後の活着が悪くなり、分げつも遅れます。

苗	稚苗葉齢　2.5葉　草丈12～13cm
箱施薬	田植３日前～田植当日（できるだけ田植２日前までに施用。播種時に使える剤もある）
株当り植付け本数	１株植付け本数は、３～４本を必ず守りましょう。
㎡当たり植付け株数	22 株（畦間　30cm　株間　15cm）

花　卉

営農畜産部　農産園芸課（琴海駐在）
松本　　恵

カラー（畑地種）栽培について

作　型	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
畑地カラー７月出荷	◎	―	―	―	―	―	△	・・・・・	△

★ 圃場準備

土壌条件：pH6.0前後。　夏場にできるだけ涼しく、排水性・保水性に優れている圃場がよい。
土壌消毒：定植前に必ず土壌消毒を行う。
元　　肥：圃場１ａ当たり、N・P・K各成分とも１kg程度施用する。

★ 球根の定植前処理

球根消毒：殺菌剤で球根消毒を行う。
ジベレリン処理：ジベレリン40ppm液に瞬間浸漬すると開花率が向上する。

※切花の品質が低下することもあるので注意。

球根の貯蔵：定植までに時間がある場合、コンテナに入れ、5℃で乾式貯蔵する。
休眠打破：促成栽培等で確実に休眠を打破する必要がある場合、２～５℃で１か月間冷蔵する。

★ 定植

畝たて：畝幅 120cm、高さ 20cmの畝をたてる。
定植様式：株間 20cm、条間 20cm、植え付けの深さは、覆土を10～20cm行う程度。

※ポイント　促成栽培では浅め、それ以外の作型では深めがいい。

★ 定植後～発芽までの栽培管理

マルチ：定植後は地温を上げて発芽を促進させるため、透明マルチで被覆する。発芽後、マルチは除去する。
温度管理・かん水：促成栽培では場合によっては15℃程度に加温。日中は30℃を目安に保温する。
かん水は地温を下げないよう、午前中に行うなど工夫をする。

★ 発芽～収穫までの栽培管理

温度管理・かん水：夜間は保温に努める。日中気温が上がってきたら換気を行い、特に発蕾後は25℃以上にならないように管理する。土壌が乾燥しすぎないようにかん水を行う。

★ 収穫

切り前：苞葉着色し、花穂の花粉が出る前が切り前の適期。
収穫：ハサミは使わず、葉を１～３枚つけて球根から引き抜くように収穫する。

★ 球根養成

移植：切花終了後直ちに露地畑に移植し、地温低下と乾燥防止のため敷き藁をする。
掘り上げ：10月以降、葉が黄化したら掘り上げる。
乾燥貯蔵：十分乾燥させた後、球根消毒を行って乾式で貯蔵する。

★ 病害虫・生理障害

病害虫：燐翅目幼虫・アザミウマ類、ナメクジが発生する。高温、窒素過多により、軟腐病が発生しやすくなる。
生理障害：窒素過多や低温などが原因で奇形花（苞葉の奇形）になる。

日本農業新聞の
文字がこの春から さらに
大きく読みやすく

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
https://www.agrinews.co.jp

この春から、読者の皆さんが読みやすい、より大きい文字、
ゆとりをもたせた段組みの紙面を届けます。

これまでの紙面

スマート農業活用探る
官民協初会合 最新技術海外展開へ

農水省や食品関連企業などでつくる「グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会」は17日、スマート農業の活用の在り方を研究する部会の初会合をオンラインで開いた。日本企業の持つ技術を海外市場で普及するとともに、海外展開を踏まえて技術を改良していく方策を探る。同省が海外情勢の報告や支援事業の紹介を行った。

同協議会は、日本の農産物や流通システムの海外展開に向けた議論を重ねている。会合では同省担当者が、農業形態や気候が日本と近く、スマート農業の推進を国家戦略に位置付けているタイでの取り組みを報告した。22年度以降、日本企業がスマート農業による水稲の実証栽培を行うとした。

新しい紙面

スマート農業活用探る
官民協初会合 最新技術海外展開へ

農水省や食品関連企業などでつくる「グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会」は17日、スマート農業の活用の在り方を研究する部会の初会合を[illegible]た。日本企業の持つ技術を海外市場で普及するとともに、海外展開を踏まえて技術を改良していく方策を探る。同省が海外情勢の報告や支援事業の紹介を行った。

同協議会は、日本の農産物や流通システムの海外展開に向けた議論を重ねている。会合では同省担当者が、農業形態や気候が日本と近く、スマート農業の[illegible]国家戦略に位置付けているタイでの取り組みを報告した。22年度以降、日本企業がスマート農業による水稲の実証栽培を行うとした。

原寸大

ポイント1 文字の大きさ 12.0%拡大!

ポイント2 1行の文字数 11字から10字に!

ポイント3 段間 20%拡大!

知る、活かす、つなぐ ～ JAグループ情報共有運動

日本農業新聞はオールJA出資で発行する国内最大の農業専門紙です。

理事会報告

令和２年度　第12回臨時理事会　令和３年２月９日

■協議事項

1　元船店舗活用について

理事会報告

令和２年度　第13回定例理事会　令和３年２月26日

■付議事項

第１号議案　不稼働不動産の売却に関する件
※可決承認された。

第２号議案　時津斎場に伴う土地の取得（固定資産取得）に関する件
※可決承認された。

■報告事項

1　第７回内部監査の結果について
2　第４回ALM委員会の報告
3　不祥事再発防止策取組状況報告書（令和３年１月分）
4　日本政策金融公庫資金（転貸資金）借入れの件
5　子会社経営報告について
6　令和２年度１月末事業実績報告について

エス・ディー・ジーズ

わたしたちのSDGs

8 働きがいも経済成長も

**“すべての人々のための
持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、
生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する”**

【各協同組合の実践例】

- 困難を抱える女性や若者、高齢者、障がい者、生活困窮者等の就労支援や雇用促進
- 勤労者、非正規勤労者、失業者への金融支援サービス
- 中小企業への金融サービスの提供と通じた成長支援
- 農林漁業従事者への各種支援
- グリーンツーリズム等の持続可能な観光業

【JA長崎せいひ女性部の実践例】

- 地産地消
- バザー　など

短歌

選手時も
監督の今も輝ける
男工藤を応援し続く
川口　正人

白八分
紅は満開の梅の花
鳥も囀り如月の庭
川本シズエ

大雪に
心弾ませ雪だるま
卒寿の夫と娘は作りたり
松﨑由紀子

俳句

花盗人とも寒木瓜の一枝切る
山名平司郎

水温む子の声流す豆腐売り
上野　沙知

水行の尊き御礼受ける春
高尾ひさの

冬椿白一輪の明るさや
本田　常子

「黙食」の貼り紙前の浅蜊汁
田川　育枝

かきわけて空掻き分けて白き梅
植村　京子

野焼跡見廻る人の夕間暮
國生恵美子

ひなた 4

令和3年3月19日発行

発行／　長崎西彼農業協同組合　総合企画部
〒850-0032
長崎市興善町6番7号
TEL 095-825-5600
FAX 095-825-5611
ホームページアドレス
www.ja-nagasakiseihi.or.jp

印刷／　㈲正文社印刷所

編集後記

４月といえば出会いと別れの季節ですね。当JAでは新たに10名の職員を迎え入れます。来月号ではフレッシュな顔ぶれをご紹介いたします。

ところで、昨年の新入職員はコロナ禍で交流会ができず同期との繋がりの大切さに気づけるのかな……と密かに不安を抱いていました。しかし、総務部で企画した交換日記のやりとりや自分達なりの方法でコミュニケーションを取り合い、今ではみんな同期をとても大切にしています。ほほえみ配達人の取材や会話を通しても仲の良さが伝わります。

同期と入組４年目を迎える私も、単に同じ年に入組した人ではなく、悩みや愚痴を言い合える戦友としてこれからも大切にしていきます。

高尾　愛里